東京教区時報

第１１７９号
2010年１０月３日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人　英　久子

WEB:http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL:comm.tko@nskk.org
Phone:03-3433-0987, Fax:03-3433-8678 Diocese Office

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

《み手のなかで》

教えを引き継ぎ続け

中川　達矢

私は立教学院諸聖徒礼拝堂のアコライトの一員として信仰生活を送っている。そもそものきっかけが立教池袋中学校に入学し、その入学式でキリスト教式の入学式に感動したことから「部活動」としてのアコライトに入部したことだ。それまでの私はキリスト教とは縁のない生活を送っていたので、右も左もわからない状態の中、お祈りを唱え、プロセッションクロスやトーチを持って礼拝奉仕を行っていた。そのような私に「礼拝」というものを教えてくださったのは、立教大学のアコライトの先輩たちだった。常に厳しく、時には優しく指導され、ますます「礼拝」に惹かれていった私は洗礼を受けることを決意した。その主な理由としては、アコライトの先輩たちに少しでも近づきたい、という欲望が大きかったのであろう。

現在、私は大学生であり、先輩として立教池袋中学・高等学校の生徒を指導する立場になった。私自身、「礼拝」というものを理解していない部分が多くありながらも中高生に伝えたいことは、人が集まるということの喜びである。私一人では礼拝奉仕は成り立たない。アコライトが一人でも多くいれば、それだけ礼拝において出来ることが多くなる。お香を振り、プロセッションクロスにトーチが続く、このようなことも人がいるからこそ出来ることである。今いるアコライトの中高生、また、未だ見ぬ未来のアコライトの少年たちに主の豊かな恵みが注がれますように。

（立教学院諸聖徒礼拝堂信徒）

◇10月の代祷・信施奉献先

▽浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動のため▽月島聖ルカ保育園のため▽こどものためのミニストリーの働きのため▽教役者緊急援助資金のため（10・17）▽社会事業の日（特定25 10・24）

▽三光教会礼拝堂　改築が完了し10月17日（日）10時から、廣田勝一管理主教による聖別、献堂のミサを。11月6日（土）13時から、同教会ゆかりの教役者、来会者とともに感謝と記念のミサをそれぞれ行う。参加歓迎。照会TEL03（3781）2554・同教会。

▽10月聖路加国際病院礼拝堂《夕の祈り》　6日（水）18時半、オルガン演奏に引き続き19時から。演奏者＝勝山雅世。入場無料（会場献金）。

▽10月ランチタイム・オルガンコンサート　＊聖パウロ＝8日（金）、木田みな子　＊神田キリスト＝20日（水）、和田純子　各々12時20分から30分程度、入場無料。聖テモテは休演。

◆とこしえの平安

7月31日　真々田正子（93）　聖ガブリエル
9月3日　織間じょう（103）　聖ミカエル
9月9日　川田　静子（102）　立教諸聖徒
9月12日　鏑木　幸子（97）　三光
9月12日　多田　威夫（79）　諸聖徒

◇秋のバザー（1）

聖マリア＝10月5・7・12・15日　10時～16時（ガレージセール）

今週・来週の予定

10月3日～16日

3（日）聖霊降臨後第19主日
4（月）分担金制度特別委員会
5（火）人権委員会（聖バルナバ）
聖職養成委員会
7（木）下町Ｇ牧師協議会
エルサレム教区協働委員会
貧困問題プロジェクト
8（金）広報委員会
10（日）聖霊降臨後第20主日
12（火）銀座朝祷会
常置委員会
委員長連絡会:第3回
13（水）財政委員会
14（木）信仰と生活委員会

◇**人事**

執事　中村　淳　教財務サービス委員長解任（8月4日付）

司祭　須賀義和　教財務サービス委員長任命（8月5日付、任期・11年12月31日）

常置委員会報告（9月14日）

＊休暇中の植田主教報告を代読。

＊30日（土）合同堅信式・11月1・2両日教区墓地礼拝、8月財務諸表、11月エルサレム教区主教来日、聖公会八王子幼稚園09年度決算確認等、主教チャプレン、各主事らの報告を了承。

＊プレ宣教協議会参加と今後。

＊三光教会建築金融資申込の書類確認し承認。

＊第110・111教区会議事録を精査。

＊その他

【クローズアップ】59

韓国併合100年

「和解と平和の旅」

管区正義と平和委員会では11月12日から15日までの日程で標記の旅を主催します。

今年は日本による韓国の植民地化から100年です。35年間の植民地政策は多くの犠牲を韓国の人々に強いました。解放後も未解決の多くの課題が残っています。一方世代の交代もあり、様々な面で交流が行われ、和解と平和への道を歩み出していると感じることも出来ます。けれども本当に和解し、ともに平和への道に進むためには今少し互いのことを知る必要があるのではないでしょうか。

この旅では独立記念館や独立運動の記念地を訪ねます。14日の主日には大韓聖公会最古の教会、江華教会の礼拝に出席します。この教会の階段手すりは戦時中に供出させられそのままでした。創立110年の今年、手すりの再設置を行います。費用を日本からの献金によりまかない、和解のための小さなしるしとしたいと思います。そのセレモニーが当日行われます。

現地に立ち、学び、ともに礼拝を捧げることによって、和解への道、平和への道をともに進んでいくことを確認する時となることを願っています。

旅の参加申込締切は10月12日です。詳細・お申込は各教会にある募集要項をご覧下さい。

管区宣教主事　司祭　中村　淳

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】60

NSKKプレ宣教協議会報告

2012年に日本聖公会の宣教協議会が開催されることをご存知でしょうか。先の総会で承認され、その準備として8月18日から2泊3日でプレ宣教協議会が開催され、日本聖公会各教区の代表、管区の諸委員会の代表が集まりました。2012年により有意義な協議会が行われ、東京教区のみならず日本聖公会全体が宣教の前進をしていくための方策などについて話し合いが持たれました。夫々の教区の課題を明確にし、共有した上で、具体的に互いに賜物を出し合っていくために何が必要なのか、今私が何をしていくのかが語られました。事前に膨大な資料が送られ、それを読むだけでも大変な作業でもありました。信徒の減少、高齢化、聖職者の不足、財政の逼迫…、様々な課題があり、時には絶望的な思いにさえさせられてしまいます。しかし深刻な状況ではありますが、互いに智恵と経験を分かち合い、必ずこの局面は打開されるという希望に満ちた会議でもありました。

基調講演として「聖公会が大切にしてきたもの」また経済の観点から、各現場からの声などの講演があり、分科会に分かれての話し合いが行われました。

この限られた紙面では言い尽くせませんし、1度だけで終わってはいけないということから、参加した5人のメンバーと常置委員と相談し、1度限りの報告会ではなく、2012年に向けて資料を皆様に提供し続けようということになりました。

すべての問題を解決する特効薬はありません。キリストに出会い、イエスに倣った生き方をしようと決意した一人一人が、励ましあいながら祈りと信仰生活の中で、絶望することなく、誰かに頼るのではなく、宣教の担い手は自分自身であり、信徒も教役者も夫々がその責任を果たしてゆくことが最高の道であることが再認識させられました。

共に祈り、考え、宣教のために邁進してまいりましょう。今後の報告をご期待ください。

教区代表・正義と平和協議会議長

司祭　大畑喜道